

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2012年度第1回(通算第9回)理事会 議事録

1. 開催日時：2012(平成24)年7月15日(日) 10:00~12:05(第1号議案~第9号議案)
13:00~17:10(第10号議案~第24号議案)

2. 場所：横浜市総合リハビリテーションセンター4階会議室

3. 審議事項および資料

第1号議案(決議事項の確認) 各業務執行理事の専権事項の報告

(1) 事業の協賛に関する承認について

(2) 広島国際大学中国新聞主催のシンポジウムの協賛

第2号議案(報告) 総務統括理事からの業務執行状況の報告

第3号議案(報告) 事業統括理事からの業務執行状況の報告

第4号議案(報告) 統括会議報告

第5号議案(報告) 総務調整会議報告

第6号議案(報告) 事業調整会議報告

第7号議案(個別審議承認事項) 一般社団法人新定款(案)

第8号議案(個別審議承認事項) 代議員選挙規則(案)

第9号議案(個別審議承認事項) 役員選挙規則(案)

第10号議案(個別審議承認事項) 2012年度定時社員総会資料 2011年度事業報告(案)

第11号議案(個別承認事項) 2011年度法人決算(連結決算)について

第12号議案(個別審議承認事項) 2012年度定時社員総会資料 一般社団法人一本化における協会の新体制(案)と任意団体の解散(案)

第13号議案(個別審議承認事項) 2012年度定時社員総会資料 2012年度事業計画(案)

第14号議案(個別審議承認事項) 2012年度法人予算(連結予算)について

第15号議案(個別審議承認事項) 2012年度法人予算(統合予算)について

第16号議案(個別審議承認事項) 2012年度の横山公認会計士事務所との継続契約について

第17号議案(個別審議事項) 2012年度予算執行の手順(理事用)について

第18号議案(個別審議事項) 2012年度理事会審議議案提出の手順について

第19号議案(個別審議事項) 2012年度業務執行報告書・事業報告書提出の手順について

第20号議案(個別報告事項) 福祉機器コンテスト経過報告

第21号議案(個別承認事項) 第28回リハ工学カンファレンス実行委員長の承認

第22号議案(個別承認事項) 第28回リハ工学カンファレンス実行委員会との覚書の承認

第23号議案(個別承認事項) 表紙デザインの変更

第24号議案(個別審議承認事項) スリランカ Ratnasekera 会長をリハ工学全般についての情報交換と、「アジア太平洋義肢装具大会2012」へも参加ということで招聘

4. 理事総数 13名

出席理事数 11名

会長(代表理事) 相良二郎

副会長 沖川悦三

理事 飯島浩、岩崎満男、大鍋壽一、金井謙介、川村慶、元田英一、鈴木聖貴、高原光恵、塚田敦史

監事	井上剛伸、井村保
顧問	田中理
事務局	深野栄子
欠席理事	巴雅人、古井透

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 定款第 39 条に基づき、議長となる代表理事の相良二郎が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
- (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の岩崎満男と大鍋壽一の 2 名を選出した。

第 1 号議案 各業務執行理事の専権事項の報告

議長の求めに応じて各理事より個別に説明をなし、その承認（追認）を求める報告がされた。

(1) 事業の協賛に関する承認について（報告）

事務局統括担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼についての報告がされた。

(2) 広島国際大学中国新聞主催のシンポジウムの協賛

広報・渉外担当の古井理事（代理：鈴木総務統括担当理事）より、広島国際大学（中国新聞）主催のシンポジウムへの後援につき、可否を事前に電磁的手段にて理事内で検討した。その結果の確認報告として、異議なしとして承認した。

第 2 号議案（報告） 総務統括理事からの業務執行状況の報告

総務統括担当の鈴木理事より、各業務執行理事の業務執行状況を資料（事前提示）の通り報告がされた。

■ 財務

- ・ 7 月の総会開催に向けて来年度の事業計画・予算案の作成依頼を実施した。
- ・ 来年度事業計画及び予算要求書の書式（案）作成について、調整を行った。
- ・ 決算書・予算書の調整にあたり横山会計事務所と 6 月 28 日（木）に打ち合わせを実施し、詳細の 2011 年度の決算調整確認と 2012 年度の予算（案）の調整・作成を行った。
- ・ 来年度の予算執行に関わる「予算執行の手続きについて」と「旅費の請求（執行）について」の案を作成した。

■ 総会・理事会

- ・ 2011 年度第 6 回（通算第 8 回）理事会議事録の作成と理事への確認を行った。
- ・ 各理事用の 2011 年度事業報告書の作成と報告記入依頼
- ・ 各理事用の 2012 年度事業計画書の作成と計画案記入依頼
- ・ 各理事用の 2012 年度事業報告書兼業務執行報告書案の作成
- ・ 2012 年度総会資料用の 2011 年度事業報告書（案）の作成

■ 総務統括

- ・ 代議員選挙規則（案）を作成した。
- ・ 選挙規則（案）を作成した。
- ・ 理事会に提出するための団体解散案の資料を作成した。
- ・ 団体解散に向けてパブリックコメントを作成した。

第 3 号議案（報告） 事業統括理事からの業務執行報告について

議長の求めに応じて各理事より、各業務執行理事の業務執行状況を資料（事前提示）の通り報告がされた。

■ カンファレンス担当

- ・ 第 27 回リハ工学カンファレンス開催に関わる後援・協賛依頼、海外団体への招聘状発行に関し、実行委員会としては対応しないことを承認
- ・ 第 27 回リハ工学カンファレンス（福岡）実行委員会・国際担当との連絡調整
- ・ 第 28 回リハ工学カンファレンス準備会との連絡調整

■ 協会誌担当

- ・ 2012 年協会誌編集委員会・予備編集会議を 2 回実施（4/14-15、6/30-7/1）
- ・ 表紙デザイン変更、連載企画に関する検討

■ コンテスト担当

- ・ 福祉機器コンテスト 2012 募集要項の印刷及び発送、選考委員・オブザーバーの決定と就任依頼発送、協賛・後援依頼発送、選考準備
- ・ 機器開発部門予備選考（42 点）および第一次選考会（32 点）の実施

■ 国際担当

- ・ 「CSUN 国際会議主催者会議報告」を協会誌 Vol. 27 No. 3(2012)にて報告
- ・ RESJA の国際会議開催案内を Concertation Meeting Group の国際会議案内（Web）に 2012 年 3 月より掲載
- ・ 第 27 回リハ工学カンファレンス・国際セッション支援（海外から申込対応）

■ 企画担当

- ・ 2012 年 4 月 21 日インテックス大阪にて開催のバリアフリー2012 で、ワークショップを開催
- ・ HCR2012 ワークショップに関して、分科会担当理事に協力要請と企画案提示
- ・ 正会員優待講習会の企画

■ その他

- ・ バリアフリー2012 ブース出展と各種協会広報の実施、他展示会出展調整
- ・ 2011 年度事業報告、2012 年度事業計画・予算要求の作成・提出（各事業）

第 4 号議案（報告）統括会議報告

総務統括担当の鈴木理事より、5 月 26 日、7 月 14 日に行った統括会議の報告がされた。主要議題は、新定款案、代議員規則、選挙規則、法人統合によるスケジュールについてであり、その報告がなされた。

第 5 号議案（報告）総務連絡調整会議報告

総務統括担当の鈴木理事より、7 月 14 日に行った調整会議の報告がされた。（出席者：相良会長、沖川事務局統括理事、鈴木総務統括理事、金井事業統括理事、飯島財務担当理事、井村監事（オブザーバー出席）、深野事務局長）

- ・ 選挙規則（案）：役員立候補者を会員から募り、また理事会においても推薦候補者を募る。理事定員数による役員候補者選挙を全会員で行い、理事候補者を選定する。法に則り、社員総会において代議員の投票により、理事を決定する。
- ・ 来年総会までに、代議員選挙と役員選挙を同時に行なう。
- ・ 予算執行手順について：収支計算書統括表、貸借対照表、正味財産増減計算書総括表、2012 年度総合予算書について確認した。正味財産増減計算書総括表上での事務局 PC 購入費についての扱いは、4 年で償却する器具備品減価償却額として処理する。

第 6 号議案（報告）事業連絡調整会議報告

事業統括担当の金井理事より、7 月 14 日に行った調整会議の報告がされた。（出席者：相良会長、金井事業統括理事、岩崎協会誌担当理事、大鍋国際担当理事、高原分科会・専門委員会担当理事、（オブザーバー）、沖川事務局統括理事、鈴木総務統括理事、井村監事、深野事務局長）

- ・ カンファレンス関連：監査体制について、1 名は協会監事を入れる方向ですすめたい（法人理事は監

事になれない)。

- ・ コンテスト関連：機器開発部門は42件の応募、学生部門は14件であり、一次選考を実施中である。
- ・ 協会誌関連：年間発行4号のうち1号は投稿論文特集など、ピーク分散の意味合いで各号にメリハリをつけるのも良い。査読システムについて編集委員会の負担にならないように、締め切りを年2回など設ける方法もある。
- ・ 企画関連：展示会のスタッフ確保の問題があるので、地域支部との連携を検討していきたい。支部が確立すると、各地の小さな展示会にも協力できるようになる。
- ・ 企画関連：パネル作り更新作成のため、各担当で内容を検討する。
- ・ 国際関連：IOS 英語本をシンガポールに提供。
- ・ 委員会・分科会関連：SIG の会計報告の提出は助成金額のみに対し必要で、活動報告も必要である。
- ・ 委員会・分科会関連：SIG が協会名を使用する際、法人格はつけないこと。
- ・ その他：担当理事と事務局の業務範囲については整理・検討が必要。

第7号議案（個別審議承認事項）一般社団法人新定款（案）

総務統括担当の鈴木理事より、公益認定を見据え、任意団体の日本リハビリテーション工学協会の解散合併に向けて、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の定款の改正を行ないたい旨、新定款（案）の新旧対照表が提示された。修正を加えたものが満場一致で承認された。なお本理事会で承認後、一般社団法人定時社員総会での議決となる。

（定款の変更）

第53条 この定款は、社員総会において、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数の決議をもって変更することができる。

2 当法人が公益認定法の規定に基づく公益認定を受けた場合において、前項の変更を行ったときは、遅滞なく行政庁に届けなければならない。

- ・ 大きな変更点として、第4条 倫理規定、第3章 代議員を新規に設けている。また第35条 理事の職務・権限で業務執行報告が3ヶ月以内に1度から4か月を超える間隔で2回以上となっている。
- ・ （第8条機関の設置）会計監査人は2千万円を超える取引がある団体は置く義務があるが、当団体は該当しないため、定款上は「置くことができる」という位置づけにしている。
- ・ （第37条役員任期）4期までの再任は妨げないとあるが、任意団体で事業・理事の業務の継続性の面から半期改選にした経緯があり、今回リセットして6年もしくは8年後に一気に理事が交代になった場合、事業の継続性が担保できなくなるため、付則でもよいので、任意団体より起算して8年を超えないことと制限を加えた方がよい。
- ・ 第10条3項として「正会員は社員総会に出席して意見を述べることができる。ただし議決権はない。」を追加する。社員総会場では、社員席と分けオブザーバー席とするなどの工夫をする。

第8号議案（個別審議承認事項）代議員選出規則（案）

総務統括担当の鈴木理事より、任意団体の日本リハビリテーション工学協会の解散に向け、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の定款の改正にともなう代議員選挙規則（案）が提示された。一部修正の上、社員総会案として提示することが満場一致で承認された。

（代議員の選出）

第18条 当法人に代議員を置く。

2 当法人の社員は、正会員の中から、正会員によって選出された代議員をもって法の社員とする。

3 前項の代議員選出において、理事は代議員を選出することはできない。

4 第2項に規定する代議員選挙は、理事会とは別途設置する選挙管理委員会が執り行う。

第9号議案（個別審議承認事項）役員選挙規則（案）

総務統括担当の鈴木理事より、一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の定款の改正に伴い役員選挙規則（案）が提示された。前日の調整会議で大幅変更が発生したため、今回は方向性の報告にとどめ、次回理事会で審議承認事項として挙げる予定とすることが説明され、継続審議となった。

第10号議案（個別審議承認事項）2012年度定時社員総会資料2011年度事業報告（案）

総会・理事会担当の塚田理事より、2012年度定時社員総会資料2011年度事業報告（案）（別資料）が提示され、満場一致で承認された。

第11号議案（個別承認事項）2011年度法人決算（連結決算）について

財務担当の飯島理事より、総会報告事項（提出資料）として2011年度法人決算（連結決算）、会計事務所作成の貸借対照表総括表、収支計算書総括表、正味財産増減額計算書総括表（いずれも法に基づいた会計書類）の提示と、監事より監査報告書の提示があり、審議の結果、満場一致で承認された。

- ・ 法人と団体の残高を見ながら、立替、新年度分は仮払金として計上するなどの調整をしている。
- ・ 貸法人より団体資金の方が大きいのは、法人収入に応じ、法人と団体で按分調整して支払い等行っているためである。

第12号議案（個別審議承認事項）2012年度定時社員総会資料一般社団法人一本化における協会の新体制（案）と任意団体の解散（案）

総会・理事会担当の塚田理事より、2012年度定時社員総会資料一般社団法人一本化における協会の新体制（案）と任意団体の解散（案）が提示され、修正後に承認することとした。

- ・ SIGに対する対応：活動支援については会計士に確認したところ、資産のあるSIGに対しての補助金は認めにくく、資産の厳しいSIGのみへの補助金であればまだ支給可能である。協会が51%以上意思決定権を持っていれば、連結決算が必要になるが、現状は違うのでパートナーとしてはどうか。

第13号議案（個別審議承認事項）2012年度定時社員総会資料2012年度事業計画（案）

総会・理事会担当の塚田理事より、2012年度定時社員総会資料2012年度事業計画（案）（別資料）が示され、各理事が確認の上で加筆修正することとし、満場一致で承認された。

第14号議案（個別審議承認事項）2012年度法人予算（連結予算）について

財務担当の飯島理事より、総会審議報告事項（提出資料）として2012年度総合予算書（連結予算）が提示された。審議の結果、減価償却費の確認を会計士に確認した上で修正し、法人統合後は団体資産を法人に譲渡するという一文を記載することとして、満場一致で承認された。

- ・ 社員総会時、団体は解散していないため、統合承認した時点で、団体から法人に全額移行し一本の予算となる。
- ・ SIGは、理念上つながっていることの定款上の記載があった方がよい。踏襲はするが、今の段階では財務上切り離すことを各SIGに説明する。分科会活動と言わず別の立場として形をつくった上で、SIGへのメリットが提示できるようにする。協会名を使用すること、補助金についての整備が必要であり、定款に沿う形にすることが望ましい。

第15号議案（個別審議承認事項）2012年度法人予算（連結予算）について

財務担当の飯島理事より、総会審議報告事項（提出資料）として、2012年度法人予算（統合予算）が法人一本化の承認された際の差し替え予算書として提示された。しかし、第14号議案で包含されたため取り下げとなった。

第16号議案（個別審議承認事項）2012年度の横山公認会計士事務所との継続契約について

財務担当の飯島理事より、2012年度の法人一本化に伴い、会計事務の実施について横山公認会計士事務所との継続契約をしたいとの提案がされた。審議の結果、満場一致で承認された。

第17号議案（個別審議事項）2012年度予算執行の手順（理事用）について

財務担当の飯島理事より、2012年度の予算執行について手順が提示され、理事間で意思統一を図り、運用上の取り決めのため必要に応じて調整可能を前提とすることが提案され、審議した。

- ・各理事より報告を受けた時点で各種調書を事務局にて作成し、支出執行する。
- ・公益認定に向け、旅費請求（執行）について整備を行う。宿泊費・航空運賃・高速バス料金、有料道路代は領収書提出（宛名は個人名でも可）を義務付ける。交通費が高くなっても宿泊費より予算軽減できればそちらを優先とする。自家用車利用の場合のガソリン代換算は実際の相場を下回らない額とし、走行距離は最短距離で自己申告とする。
- ・理事会日程変更等によりキャンセル料が発生した場合はキャンセル料を認め、旅費申請書により申請するものとする。
- ・今回提示した手順は、旅費規程を作るための準備である。

第18号議案（個別審議事項）2012年度理事会審議議案提出の手順について

総会・理事会担当の塚田理事より、2011年11月28日付監事指摘事項を受け、理事会審議手順（議案提出手順）指針を別案のとおり設定（文書化）したいと提案され、審議された。議案提出について、2週間前に議案受付開始とし1週間前に締め切る形で、次回理事会で試行することとなった。

第19号議案（個別審議事項）2012年度業務執行報告書・事業報告書提出の手順について

総会・理事会担当の塚田理事より、新年度からの、業務執行報告、事業（年度）報告書の手順を一本化し、情報の散逸を防止したいと提案された。審議の結果、2012年度はこの雛形を活用して報告することになった。

第20号議案（個別審議事項）福祉機器コンテスト経過報告

コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテストの応募状況、一次選考会の概要報告がされた。また、シルバー新報からの原稿依頼についてコンテスト担当理事が取りまとめをすることで承諾することが、満場一致で承認された。

- ・応募数：機器開発部門42件、学生部門14件
- ・シルバー新報より「夢と希望の福祉機器～リハ工学協会コンテストの受賞作品から（仮題）」というテーマで掲載依頼があった。
- ・コンテスト担当の元田理事より、福祉機器コンテスト応募作品のデータベース化について提案されたが、まだ調整事項が残るため、検討・調整を重ね、案を練ってもらうこととなった。

第21号議案（個別承認事項）第28回リハ工学カンファレンス実行委員長の承認

カンファレンス担当の巴理事（代理：金井事業統括理事）より、第28回リハ工学カンファレンス実行委員長として米本清氏（所属：岩手県立大学社会福祉学部）が提案され、満場一致で承認された。

第22号議案（個別承認事項）第28回リハ工学カンファレンス実行委員会との覚書の承認

カンファレンス担当の巴理事（代理：金井事務局統括理事）より、第28回リハ工学カンファレンス実行委員会との覚書が提示され、満場一致で承認された。

第23号議案（個別承認事項）表紙デザインの変更

協会誌担当の岩崎理事より、表紙デザイン料の見積りを2社から取った上で予算計上し（2012年度予算案として承認済み）、Vol.28 No.1（2013年2月発行）より表紙デザインを一新することが提案された。表

紙デザイン発注先社員である川村理事、鈴木理事を除いた決議の結果、満場一致で承認された。

第24号議案（個別承認事項）スリランカ Ratnasekera 会長をリハ工学全般についての情報交換と、「アジア太平洋義肢装具大会2012」へも参加ということで招聘

国際担当の大鍋理事より、W. M. D Ratnasekera, Senior President, SRI LANKA NATIONAL FEDERATION OF THE VISUALLY HANDICAPPED は、第27回リハ工学カンファレンス（27 JCAART）への出席希望の要請があった。障害全般に興味を持たれているが、27 JCAART では英語による論文発表が5件しかなく、情報収集に期待できるものが少ない。このため、8月3日～5日に神戸で開催される「アジア太平洋義肢装具大会2012」The Asian Prosthetic and Orthotic Scientific Meetings 2012 (APOS2012)を紹介し、希望されればそちらの学会への参加を主体に、協会（RESJA）として招聘状を出すということが提案され、満場一致で承認された。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2012（平成24）年度第1回（通算第9回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（15時40分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2012年7月15日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会 2012年度第1回理事会

議長

議事録署名人

議事録署名人